

広報



# しらす

No.340

平成11年

2月号



**最新技術で  
次代を拓く**

昭和59年、全国でも珍しい「公設民営方式」によって誕生した津軽テクニカも今年で満15歳。現在はパソコンに欠かすことのできないCD-ROMドライブを生産しており、「メイドイン市浦」の製品は各地で高い評価を受けています。

津軽テクニカは止まることのない技術革新の波を着実にとらえ、今後も高品質の製品を生み出していきます。

## 津軽テクニカ 創業 15周年

# 地域経済のさらなる発展を願う

市浦村の誘致企業として昭和五十九年に創業した津軽テクニカが創業十五周年を迎え、二月一日村コミューニティセンターで記念式典が行われました。

### 多くの願いが 工場を誘致

一次産業の比重が高い市浦村にはこれといった地産産業がなく、そのために村の自立と若者が安心して定住できる就業の場として企業を誘致することは長年の夢でした。

そこで当村は昭和五十八年にふるさと定住対策条例に基づく雇用奨励補助金の交付制度、工場誘致奨励条例などを制定し、さらに村が土地造成と工場を建設し、工場の経営を企業が担うという、当時としては画期的な方法「公設民営方式」によって津軽テクニカが誕生、三十八人の従業員がスタートしました。

それ以来、日進月歩の技術革新による他社との厳しい生存競争、浮沈の激しい経済の変動、世界情勢の急変に耐えながらもこれまでに「ヘッドフォンスステレオ、小型液晶カラーテレビを生産し、平成六年からはパソコン等に使用されるC D-ROMドライブを生産。現在は百十七名



▲創業15周年と一層の発展を願って万歳三唱が行われました

の従業員より一日一千七百台が生産されており、年間の売上げ高は五億円。また、次世代の主力となるDVD-ROMドライブの生産にも着手しています。

### 高い技術力で 次代に挑戦

二月一日の記念式典ではまず河西一夫津軽テクニカ代表取締役社長より「常に時代の最先端の商品を高い技術力によって生産し、東芝メデア機器(本社・五所川原市、河西一夫社長)等の中でも優秀な工場にまで成長

することができた。従業員の方々の努力に感謝するとともに今後も津軽テクニカを通して地域に貢献していきたい」とあいさつ。また、高松隆三村長からは「企業から見れば辺境の地であるわが村が知恵をふりしぼって考えだした。公設民営方式によって、工場が設立されて以来、経済や世界情勢の変動等多くの難関を乗り越え、今日の発展を乗りこえたことに感謝します。皆さまの御芳苦に感謝し、今後も一層の精進により、津軽テクニカが二十一世紀にむけて大きくはばたくことを期待します」と祝辞が述べられました。続いて高松村長から河西社長へ感謝状が、河西社長から三十二個品として三十二型DVDテレビが贈呈。また、創業当時から津軽テクニカに勤務された十二名の方が永年勤続十五年表彰を受けました。

そして従業員それぞれがお互いこれまでの努力をたたえいきました。パソコン市場は製品の寿命が短く、三、四ヶ月でモデルチェンジするのがあたりまえとなっていることから、常に研修等によって新しい技術に対応していく必要が求められており、津軽テクニカは常に「お客様が何を求めているか」を第一に考え、時代の最先端を走り続けています。

### 永年勤続十五年表彰

(順不同)

- 松橋 照彦(三) 秋田谷昭枝(四)
- 三和 俊仁(四) 安田 信子(三)
- 上野 美幸(四) 中野 明子(四)
- 山田美穂子(藤巻) 越野 初子(治)
- 工藤 鉄子(藤川) 安保サミ(四)
- 唐川 栄子(四) 櫛引 樽子(藤元)



▲河西社長(左)から表彰を受ける津軽テクニカの社員(右)

会社関係者・来賓、

平成十一年新年を祝う会

# 新年の決意を新たに

近年は行政だけでは対応しきれない問題が増えており、よりよい村づくりのためには住民と行政が一体となつて、各種の課題や問題に取り組んでいく



▲あいさつする川口連合会長

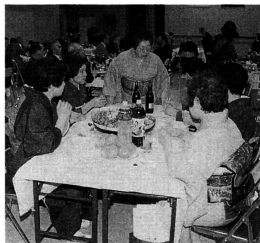


ことが必要とされています。そこで町内会連合会、商工会等が中心となり、住民と行政が一堂に会し、話し合う場として平成九年から毎年御用始めの時期に「新年を祝う会」が開催されており、今年で三回目を迎えることになりました。

当日は、実行委員会を代表し、川口定雄町内会連合会長が、「去年は不況一辺倒の一年だったが、今年は数々の困難を一つ一つウサギのように跳んで、乗り越えていきたい」とあいさつ。高松隆三村長から、「去年は世紀末を感じさせるような事件が続発し、洪水・地震・竜巻・異常気象等世界規模で災害が多い年であった。また、東京・大阪・神奈川・愛知などといった、日本でも有数の裕福な都市だと言われて



▲あいさつする高松村長



▲新年における抱負を語り合う参加者

いたところが現在は財政危機に瀕している。そんな厳しい情勢の中にあるながらも、これからわが村がより良い方向へ進むにはどうしたら良いかを考え、各種事業に取り組んでいきたい」とあいさつがあり、海水治療温泉施設の着工、介護保険制度の準備、ほ場整備事業の二期工事等、今後計画されている各種事業が紹介されました。引き続き浜田春士議長から「近年市浦村だけでは解決できない問題が増えてきていることから、小泊村

議会との全員協議会を三年前に発足し、その中で特別養護老人ホームの誘致、道路の整備をはじめとした両村にとって共通の問題に対して取り組んでいる。今後も議会活動を通じて、市浦村の産業・経済・文化の発展に取り組んでいきたい」とあいさつがあり、柏谷美智雄選挙管理委員会委員長の乾杯によって祝宴が始まりました。

祝宴ではアトラクションとして相内保育所の園児による遊戯や婦人会のみなさんによる舞踊が会に華をそえ、和やかな雰囲気の中、参加者は新年における抱負を語り合っていました。

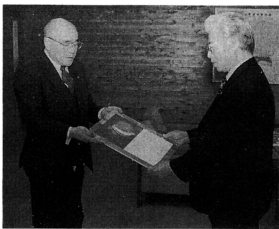


▲子どもたちの遊戯に温かい拍手が送られました

一月五日村コミュニティセンターで「新年を祝う会」が開催され、当日参加した九十名が新年における誓いを新たにしました。

# NEWSフラッシュ

## イメージCMが奨励賞受賞 全日本CMフェスティバル



▲賞状を受ける高松村長(右)

今年度市浦村では情報発信事業の一環としてテレビコマーシャルを制作し、現在青森放送(RAB)・青森テレビ(A TV)・青森朝日放送(ABA)で放映していますが、この度全日本CMフェスティバル(A C C)主催による「第三十八回 A C C 全日本CMフェスティバル」において市浦村が地域テレビCM部門において奨励賞を受賞しました。

全国から集まった応募総数は三千六百六十四件で、このCMフェスティバルにおける今年のテーマは「人。人を描いて、人の心を捉え、作品に重点が置かれており、多くの作品が評価され、奨励賞受賞となりました。

◆放送局  
○青森放送(RAB)  
○青森テレビ(A TV)  
○青森朝日放送(ABA)

◆放送時間  
○RAB天気予報  
毎週火曜日午後八時五十分以降の天気予報  
○A TVとABAはスポット放送となつています。

## 原

### 子力への理解を深める 原子燃料サイクル地域座談会

原子燃料サイクル地域座談会は、県内各市町村の住民と直接的な対話等を行うことによつて、原子燃料サイクル事業について正しい知識の普及や住民の理解を促進し、県民の不安や疑問の解消を目的として開催されているもので、市浦村では三月二十五日あすなろホールにて開催されました。

地域座談会では東京新聞の編集委員である最首司氏を招い



参加者は高い関心を示していました。

て講演が行われ、二十世紀以降世界の人口は暴発的に増えており、食糧問題と同時にエネルギー不足も心配される。資源に乏しい日本はかつてのオイルショックの経験から石油のみに頼らないエネルギー生産の必要がある」とエネルギーの必要性を解説しました。

引き続き科学技術庁・通商産業省の担当者から原子燃料サイクル事業の必要性と安全性に関する説明が行われ、

## 相 内Aチームが優勝 第15回ふれあいゲートボール大会

その後行われた原子燃料サイクル事業についての意見交換会では、参加者から原子力の安全性、将来の展望、農業へ及ぼす影響等積極的に質疑応答が行われるなど、参加者の高い関心が表れていました。

この度、B&G海洋センターにおいて「ふれあいゲートボール大会」冬の陣が行われました。この大会は、四季に分けて行われ、年間の総合成績で順位を決定するもので村内のゲートボール愛好者が参加しました。試合は、前半からリードした相内Aチームが優勢になり、後半戦2試合おとしたものの、2位の太田チームに1勝差で逃げ切り優勝を手中におさめました。成績はつぎのとおり。

- 優勝 相内Aチーム
- 準優勝 太田チーム
- 3位 ささなみチーム



優勝を果たした相内Aチーム

# 一日一円で安心を

## 青森県交通災害共済

青森県交通災害共済では、た  
だ今平成十一年度の加入申込み  
を受け付けています。まさかの  
時に備えてぜひ加入されるよう  
お勧めします。

また市浦村内では、平成十年  
度団体加入表彰受賞団体として  
太田まんまる会、十三小学校、

相内小学校が加入率百パーセン  
ト達成によって受賞、十三婦人  
会が組合設立三十周年記念表彰  
を受けています。  
お問合せ先  
役場総務課  
電話番号  
六二二二二二



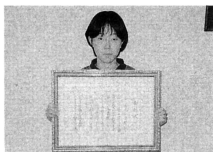
▲十三婦人会



▲太田まんまる会



▲相内小学校



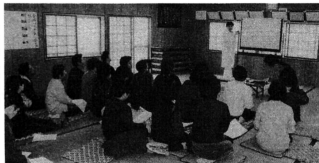
▲十三小学校

# 健康増進への意識を高める

## 村内健康教室

一月から三月にかけて、村内各  
地区で健康教室が開催されてい  
ます。

この健康教室は生活習慣病の  
予防や健康増進等、健康に関す  
る正しい知識の普及を図ること  
によって、「自らの健康は自ら守  
る」という認識と自覚を高め、  
住民の健康保持・増進を目的と  
しているもので、いずれの会場  
も市浦診療所の岩村有泰先生が  
講師を務めています。



▶岩村先生の講演は  
解りやすいと好評です

肝日」を設けるように旦那さん  
に教えてください」とアドバイ  
ス。お酒は日常に直結している  
話題だけあって参加者の関心が  
高く、健康教室終了後も  
参考になっていた」との意見があ  
りました。

初日となる、約十九日は相内  
地区の旧社協に約四十人の参加  
者が集まり、「肝臓ってどんな  
働き？その病気は？」と題して  
肝臓の働き・肝臓に関する病気  
の種類とその症状及び対処法の  
説明が行われました。その中で  
特にアルコール性肝炎について  
詳しく解説され、「お酒の飲み  
過ぎは良くないが、適度な飲酒  
は死亡率を低くする」、「お酒が  
好きな方には、お酒を控える。休  
一〜三分の二

# 善意に感謝します



▶高松村長に目録を手渡す  
竹谷博則さん(右)

この度、竹谷博則さん(臨元地区)より「社会福祉に  
役立ててほしい」と香典返し(故 竹谷みちさん)の一  
部として、30万円を寄附されました。  
また、市浦村出身で現在は津軽鉄道の代表を努めて  
いる三和満さんからも「社会福祉に役立ててください」と  
10万円を寄附されました。三和さんは平成7年から  
毎年寄附をされています。  
市浦村では竹谷さんと三和さんの善意に感謝し、福祉  
基金として積み立てをすることとしています。  
ありがとうございました。

# 消防・ネットワーク

火事と救急・  
救助は  
一一九番

## 今年も「火の用心」

市浦消防署長 小山内清春  
輝かしい平成十一年の新年を迎え、村民の皆様には職員と共に運んでお慶びを申し上げます。

さて、昨年の災害状況を振り返って、六月に十三地区で発生した住宅火災が一件あり、平成八年四月から継続中でありました無火災が七八日の記録でストップしました。

救急救助では、水難事故で二名、交通事故では三名が死亡、八名の負傷者が搬送されており、急病、一般負傷、交通事故の救急出動が多くなっているのが現状であります。その後は大きな災害もなす年を越すことができ、また、これも偏に皆様の日頃からの防火、防災に対するご努力の賜物と心から感謝申し上げます。

昨年、土気高揚のため職員個人の充実、資質の向上、施設環境整備を中心に業務を進めてまいり、今年は何よりも人命の尊重を基本とし、安全な村づくりを実現するために、地域住民への救急法の指導、防火意識の普及と消防団との連携、幼少年消防クラブ、婦人防火ク

ラブ等各団体との地域ぐるみの救急、防火体制づくりを進めて地域住民から信頼される消防人として、より一層努力する所存ですので、みなさまのご指導とご協力をお願い申し上げます。  
冬はやけどに注意！

## 救急・救助係より

冬は暖房器具を使用機会が多く、このためちよつとした不注意でやけどをされたりします。例をあげると、暖房を入れるとどうしても部屋の空気が乾燥します。そこで皆さんの家庭では、加湿するために器具の上でお湯を沸かすのではなく、移動式の安定感の悪い器具の上とちよつとしたすみでひつくりかえり、体の広範囲に熱湯を浴びてしまいます。小さなお子さんのいる家庭では、特に注意が必要で、子供は予想も出来ない行動をしますので、身長な低い分、頭から熱湯を浴びてしまいます。

もう一例をあげると、最近流行の、ホットカーペットによる事故です。おしりが暖かくなって、も心地のよい器具ですが、高

温のまま、ついとうとうと眠り込んでしまったり、感覚の弱くなった、お年寄り等が長時間にわたって接触が続き、ちよつと、とうとう火を焼いたような状態と同じになり、皮膚の深部までやけどをし、重症になつてしまいます。

## やけどをしつたら

まず、冷やしてから考えてください。できるだけ早く、清潔な冷水(水道水等)で、痛みがなくなるまで、また広範囲にわたる場合は、冷え過ぎに注意して行ってください。皮膚くつついている肌着、靴下等は無理に脱がそうとせず、そのままの状態で行ってください。また、むきだしの患部は、流水が直接皮膚にあたり、よ、清潔なガーゼ等で覆って行ってください。範囲の小さい、軽いやけどですと問題は無いですが、病院で治療を要する場合は、安易に薬をつけないでください。治療に支障をきたす場合があります。

## 治療より予防

皆さんの家庭では、それぞれ家族構成が違います。今一度、家の中を見回して、危険がないか考えてみてください。起きるから、このことを考えるより、起こらないよう考える事が、何よりも大事な事なのです。



# 新年観閲式

雪降りしきる中、決意新たに

毎年恒例の上ノ国消防団新年観閲式が、一月四日(上ノ国消防署前)で行われました。



▲決意を新たにする消防団員

雪の降りしきる中、消防団員百十七人、婦人防火クラブ二十二人が分団ごとに行進し、富江進一消防団長と福原町長の観閲を受けました。福原町長のあいさつ後、富江消防団長が「不屈の消防精神のもと常に備えある磐石の消防体制を堅持され、不測の災禍にその威力を発揮されませう」と期待を込めて訓示を受けました。団員たちは決意を新たに、防災に努めることを心に堅く誓っていました。

友好町村だより ②  
かみのくに  
情報ランド

# 下水道のはなし ③

## 下水道ってなんだろうう

### 下水道をうめる

#### (1) 下水管を埋める

私たちの家から出る汚水は、だんだん集められて、終末処理場まで運ばれます。そこできれいな水にされて、川や海に流されていきます。そのためには、

まず、汚水を運ぶ下水管を、地面の下に埋めなければなりません。私たちの家のすぐそばに埋められています。直径が約二〇センチメートルの管です。

下水管は、道路の下にあみ目のように埋められており、それがすべて終末処理場までつながっています。下水管の長さや合計すると、たいへんな長さとなります。

#### (2) 終末処理場をつくる

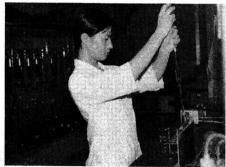
終末処理場をつくるには、まず大きな場所を決めて土地を買ひ、そこに建物といろいろな設備をつくります。各家庭から出る汚水は、下水管を通じて終末処理場に集められるので、終末処理場の大きさは集まってく

る水の量により決められます。場所については、きれいにした水を放流しやすいように、主に川や海の近くにつくられます。環境への対策も十分に行わなければなりません。まわりに悪臭がもれることがないようにします。

### 下水道を守る

#### (1) 下水管の検査と掃除

下水管が、十分にその役割を果たすためには、定期的に検査



きれいにされた水は、川や海にもとず前に検査を行います

や掃除を行い、正しく管理しなければなりません。道路の下に埋められている下水管は、トラックなどによる振動や、電気、ガス、水道の工事などいろいろな原因によって壊れたり、傾いたりすることがあります。また下水管の底に砂やどろがたまると、下水の流れが悪くなったり、水があふれたりする原因にもなります。このようなことが起きないように、定期的な下水管を検査したり、掃除しきれいにします。

#### (2) 終末処理場の管理

私たちが使った汚れた水は、下水管を通じて終末処理場に集められ、処理されますが、終末処理場の管理が正しく行われな

ければ、川や海はきれいになりません。このため終末処理場では、「エアレーションタンク」などいろいろな施設を上手に動かすことはもちろん、機械の点検や、整備を行っています。

また、水がきれいになつたかどうか、処理水の質の検査をきちんと行っています。

#### (3) 下水道の正しい使い方

せっかく、下水道がつくられても、これを正しく大切に使用しなければ、私たちの生活にほんとうに役立つことにはなりません。そのため、守らなければならないことがいくつかあります。

まず、下水道が設置される、三年以上以内にくり取り式トイレを水洗トイレにかえなければなりません。汚水もごみや砂でつまらないように気をつけなければなりません。このように、いろいろのきまりを守り、下水道を正しく大切に使うことによって、私たちの村は美しく住みよくなり、川や海はきれいになるのです。



▲台所からゴミや油を流さないようにしましょう



▲ガソリンやシンナーなどを流してはいけません

その家だけでなく近所の家にもめいわりをかけることになるからです。次に、下水道を使うときに、注意しなければならないことがあります。たとえば、水洗トイレでやわらかい紙以外のものを流したり、台所から、ごみや油を流してはいけません。それは下水管がつまる原因となるからです。特にガソリンやシンナーなどは、下水管の中でばく発する危険があり、絶対に流してはいけません。汚水もごみや砂でつまらないように気をつけなければなりません。このように、いろいろのきまりを守り、下水道を正しく大切に使うことによって、私たちの村は美しく住みよくなり、川や海はきれいになるのです。

▼電話番号 ○一七七三三五四一五二  
▼お問い合わせ先 青森県立母子福祉センター

区分	科目	事業内容
技能習得・自立促進事業	和洋裁縫物手芸(昼間)	1. 場所 青森市(母子福祉センター) 2. 期間 通年(3回/週 10時~16時) 3. 対象 母子・寡婦 4. 人員 おおむね40名 5. 受付締切 3月15日
	ホームヘルパー養成研修(3級課程)(昼間)	1. 場所 青森市(母子福祉センター) 2. 期間 6月~9月(日曜日11回 9時~16時) 3. 対象 母子・寡婦 4. 人員 30名
	ワープロ3級資格取得準備講習会(昼間)	1. 場所 青森市(県民福祉プラザ内 女性就業援助センター) 2. 期間 6月より(日曜開講 70時間) 3. 対象 母子家庭及び父子家庭の子 4. 人員 20名
自主活支援事業	英会話講習会(夜間)	1. 場所 青森市(母子福祉センター) 2. 期間 6月~11月(24回) 3. 対象 母子家庭及び父子寡婦の子 4. 人員 20名
	移動母子福祉センター	1. 場所 各開催希望市町村 2. 期間 通年 3. 対象 母子家庭・寡婦 4. 人員 実施母子寡婦福祉会が自主的に定める
	サークル形成推進	1. 場所 母子福祉センター(福祉プラザ) 2. 期間 通年
相談事業	母子相談及び電話相談	1. 場所 青森市(母子福祉センター) 2. 期間 通年(平日及び講習開催の日曜日) 3. 対象 母子家庭・寡婦 4. 担当 相談員ほか 相談電話番号 0177-74-3780

平成十一年度 県立母子福祉センター事業一覧  
青森県立母子福祉センターでは、母子家庭寡婦に対する平成十一年度の事業を次のように実施する予定です。

平成十一年度技能取得講習会の実施について

### ◆青森県内における平成10年中の高齢者の交通事故発生状況◆

平成10年中の交通事故死者のうち、昭和54年に統計をとってから過去最高となった高齢者について、その発生状況の分析結果をお知らせします。

#### 1 まだ若いという過信か(65~69歳の死者が増加) 【年齢区分別交通事故発生状況】

	65歳~69歳		70歳以上		合計	
	死者数	傷者数	死者数	傷者数	死者数	傷者数
本年	16	467	39	665	55	1,132
前年	11	446	36	678	47	1,124
増減数	5	21	3	-13	8	8
増減率	45.5%	4.7%	8.3%	-1.9%	17.0%	0.7%

65歳以上の高齢者の事故発生状況を見ると、65歳~69歳の死者数が前年より約5割近く増加しているのが目立ちます。

#### 2 お年寄りの夜間外出には家族も注意を(薄暮時から深夜の死亡事故が半数以上) 【時間別死者数】

	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
死者数	2	1	3	4	6	7	4	3	10	6	7	2
前年比	2		-1	1	3	1		-4	3	-4	6	1

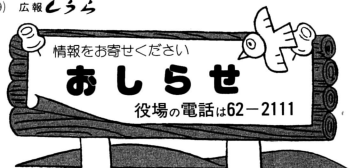
高齢者の死者55人のうち午後4時から朝の4時までの死者が、28人と半数以上を占めています。

#### 3 歩行者の横断中が全死者の約3分の1、歩行者の死者のうち車の直前直後横断が半数

状態別死者数	状態	死者数	
		前年	前年比
歩行者	通行中	3	2
	横断中	18	-3
	その他	3	2
軽車両	自転車	10	2
	その他		
四輪	運転中	10	4
	同乗中	5	
	原付	6	1
計		55	8

歩行者の違反別死者数	違反	死者数	
		前年	前年比
通行区分	信号無視	1	-2
	横断歩道外横断	3	2
	斜め横断	4	3
横断	直前直後横断	1	1
	禁止場所横断	12	-2
路上遊戯	飛び出し		
	その他の違反	2	1
違反なし		1	-2
計		24	1





### 消費税及び 地方消費税の期限内納付

消費税及び地方消費税は、事業者が消費者から預かった税金を納付するものです。期限までに納付しましょう。

#### 【消費税及び地方消費税の

#### 申告・納付】

個人事業者の方は、翌年3月末日までに、所轄の税務署に消費税及び地方消費税の確定申告書を提出するとともに、消費税額と地方消費税額の合計額を納付しなければなりません。納付には、便利な振替納税がありますのでご利用ください。

法人の場合には、課税期間の末日の翌日から2か月以内に、所轄の税務署に消費税及び地方消費税の確定申告書を提出するとともに、

消費税額と地方消費税額の合計額を納付しなければなりません。

前課税期間の確定消費税額が48万円を超える場合には、中間申告・納付が必要になりますので、ご注意ください。

#### 【国税を滞納すると】

国税を滞納すると、延滞税が加算されるほか、財産差押え等の処分を受ける場合があります。

#### ▶お問い合わせ先

役場総務課税政係

### 国民年金保険料の 納め忘れはありませんか

国民年金保険料の納め忘れはありませんか。

国民年金は20歳になったときから60歳になるまでの間、保険料を納めると65歳から満期の老齢基礎年金を受けることができます。

### 市浦村の人口と世帯数 平成11.2.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,258	1,264	415
桂川	68	68	22
太田	276	276	89
服元	518	521	195
磯松	312	310	109
十三	801	803	252
計	3,233	3,242	1,082

また、保険料を納めた期間と、納めるのを免除された期間等を合わせて25年以上あれば、年金を受け取る権利を得ることができます。しかしその場合、年金は減額されます。

不慮の事故や病気で障害が残った場合の障害基礎年金、一家の働き手を失った場合の遺族基礎年金も、保険料が納められていなかった期間があると、受けられない場合があります。保険料は忘れずに納めましょう。

納め忘れていた保険料は、2年以内であれば後から納めることができます。しかし、それを過ぎてしまうと納めたくても納めることができなくなり、将来受ける年金額が低くなってしまいます。

保険料の納め忘れを防ぐためには、地区の納付組織(納税貯蓄組合や婦人会など)に加入したり、口座振替や、先に1年分の保険料を納める前納制度を利用することをおすすめします。

### 改正男女雇用機会 均等法が施行されます

事業主の皆さまはすでにご存じのことと思いますが、男女雇用機会均等法が改正され、労働者の募集・採用について、平成11年4月1日から女性に対する差別を禁止する規定となりました。

つきましては、男女雇用機会均等法の趣旨・内容を理解していたいただき、労働者の募集に当たっては、男女不問求人としていただきますよう、お願いします。

なお、雇用管理の改善方法等、詳しくは青森女性少年室へお問い合わせください。

#### ▶お問い合わせ先

五所川原公共職業安定所

#### ▶電話番号

0173-34-3171

### 知っていますか「なんでも110番」

村では村内各地域に「なんでも110番」の相談員を配置し、地域づくりや行政に対する相談等を受け付けています。どんなことでも気軽にご相談ください。

各地域の担当相談員は次のとおりです。

地区名	担 当	T E L
相内	成田経済観光課長	62-2749
太田	古川議会事務局長	62-3467
服元	桑野企画財政課長	62-2374
磯松	松江総務課長	62-2472
十三	中居建設課長	62-3157

### 県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

	1月	累計	死者のうち	高齢者の死者	
				2	(0)
発生	721件 (682)	721件 (682)	死者のうち	飲酒運転による死者	2 (0)
死者	7人 (0)	7人 (0)		シートベルト着用義務者(着けなければならぬ)	4 (0)
傷者	879人 (820)	879人 (820)		非着用者(着けていなかった)	3 (0)
				着けていれば助かったと思われる人	1 (0)

( )内は前年。累計は1月から。



表1 乳ガンの発生原因

家庭歴	母親、姉妹に乳ガンにかかった人がいる
既往歴	乳腺疾患にかかったことがある
	高齢出産、少産である
	子供を1度も産んだことがない

過栄養	高タンパク、高脂肪の食物の摂取が多く、肥満である
-----	--------------------------

原因は、早婚、多産、若年時の性行為、多数の相手との性交渉、陰部の不衛生、ビタミンAの不足、ウイルスによる感染などです。また、子宮体部にできるガンの発生原因としては、未婚・不妊・少産、肥満、糖尿尿の傾向、45歳以上などがあげら

は、食生活を中心とした生活習慣  
 ◎子宮ガンについては、今まで二回にわたり、シンガポールについて学びましたが、ガンは三回目の今回は、女性の「ガン」である子宮ガンと乳ガンについて学習しよう。  
 ◎子宮ガンについて  
 子宮ガンは乳ガンと共に多い女性特有のガンです。日本人の場合、子宮の入口の部分にできる子宮頸部のガンが多かったのですが、最近では子宮の奥の部分にできる子宮体部のガンや卵巣ガンが増え始めています。これは、食生活を中心とした生活習慣

が欧米化し、女性の体質に何らかの影響を及ぼしているのではないかと考えられています。子宮ガンの初期症状としては、おりものがある、不正出血がある、などです。このような症状があったら、すぐに医師の診察を受けるようにしましょう。  
 子宮ガンの予防の基本は、体を清潔に保つことです。これは、発生原因の一つとしてウイルスによる感染が考えられているからです。また、早期の子宮ガンは手術や放射線療法で百分治すことが可能であることから毎年、定期的な検診を受けることをお勧めします。

子宮ガンの発生原因は、表1のとおりです。  
 ◎乳ガンについて  
 乳ガンは、年々増加傾向にあり、特に40歳～50歳代にかけて多く発生しています。  
 乳ガンの発生原因は、表1のとおりです。

「ガン」シリーズ③  
**「子宮ガン乳ガン」をこうして防ぼう!**



れます。  
 ◎乳ガンについて  
 乳ガン予防のポイントとしては、①バランスのとれた食生活で、同じ食事内容は続けない。  
 ②なるべく母乳で赤ちゃんを育てるようにする。③月一回は図1を参考に自己検診をする。④定期検診を受ける。などです。

▼お祝いめ

成田 範子 (脇元) 76歳  
 高橋 精一 (脇元) 73歳  
 中村 マル (脇元) 75歳  
 成田 光春 (太田) 56歳

▼お誕生

小田 桐そら (相内) 英仁  
 和 鳴未 (衣野) 歳松 一義  
 棚 引北斗 (脇元) 勝利  
 宮 本 愛 (相内) 久一

▼お誕生

メーターを壊さないで  
 (助)東北電気保安協会

